

(仮称) 白馬村北城プロジェクト 住民説明会 議事録

○開催日時：令和 8 年 4 月 5 日（日） 午後 1 時半～2 時半

○開催場所：八方文化会館

○主催者：アルピコホールディングス株式会社、アルピコ交通株式会社、アルピコホテルズ株式会社、株式会社デリシア、さくら不動産株式会社

○立会人：白馬村建設課

○参加者数：63 名

1. 開会あいさつ

2. 出席者紹介

3. 事業主挨拶

4. 計画報告

※資料「(仮称) 白馬村北城プロジェクト説明会資料」に沿って説明

1. ロケーション
2. プロジェクトの体制
3. コンセプト
4. ゾーニング
5. 道路と水路の付替え

5. 質疑応答

住民 A

・JR 地震観測施設の際までが開発区域ということか。より詳細なエリアを確認したい。詳しい範囲を教えてください。

(回答)仰る通りでございます。詳細な範囲については、個別で説明させていただきます。

住民 B

・バス動線について、大橋川南側の道路を大型バスが走行するのか。該当道路は八方口エリ

アまで繋がっているが、その先は幅員が狭くなっており、通学路にもなっているので、気になる。

(回答) 八方尾根入口交差点から計画するバスターミナルまで大型バスが通行する予定です。バスターミナル以東にはバスの通行はありません。

住民 C

・①JR 地震観測施設付近での試験施工による夜間工事の問題が生じた場合、今後の事業にどのような影響があるのか。

・②ホテルの開発は客数が競合することが心配である。バスターミナルと商業施設だけでなく、ホテルも開発するようになった背景を教えてください。

(回答) ①現在も JR と協議中ですが、JR も本件のような事例がなく、まずは今回の試験施工による調査の上で判断をしていくことになりました。通常の工事では影響がないと考えており、現時点では計画を変更することは考えていません。また、昨年 11 月に現地付近で地盤調査を実施しました。その調査時では影響がありませんでした。

②アルピコグループは長野県内各地でホテルを事業展開しています。白馬地域でもホテルを計画したことは地域に貢献したいと考えたためです。競合するというよりは、白馬の価値や魅力を高めることに貢献したいと考えているため、価格帯等で競合することは現時点で考えていません。11 月の報告会でも同様の質問がありましたが、ホテル開発によって白馬エリア全体の集客に寄与できると考えています。

⇒白馬の価値を高めるといった具体的なアイデアがあるか。

(回答) 現時点ではその魅力を高める案を検討中です。

住民 D

・渋滞対策が重大な課題とあるが、冬季のオリンピック道路は特に渋滞する。渋滞時は無理やり右折する車両や道路外用地を走行する等の荒い運転をされる方がいて、交通安全を心配している。警察と協議するとあるが、右折信号を設置することは考えていないと回答があったが具体的にどのような進めていくのか。

(回答) 交通渋滞は重大な課題であることは認識しています。そこで専門機関による交通量調査を夏時と冬時に実施して、実態を認識するようにしています。行政や警察と協議しながら長期的な課題として捉え、解決していくよう考えています。住民の皆さまにはご迷惑をかけてしまいますので、説明できる段階になったら説明していく様心がけていきます。

住民 E

・バスターミナルが新設されるとのことで、既存バスバスターミナルとの関連性を教えてください。また、送迎用の車両もロータリーを使用できるのか。

(回答) バスの発着に関しては現在検討中ですが、既存の八方バスターミナルのバスは新し

いバスターミナルに停車する予定です。既存八方バスターミナルはバスの停留所として活用する予定で今まで通り乗降が可能となる予定です。また、送迎用の車両も駐車できるように計画しています。

住民 F

・新しいバスターミナルできるということで、デリシアで弁当を買ってバスを待つことも考えられる。ゴミ問題が心配になるので、イートインスペースなどを整備してほしい。また外にゴミを捨てない様に徹底してほしい。

(回答) 施設の中にゴミステーションを設置し、回収する予定です。施設内でのごみの散乱がない様に巡回パトロールを計画しています。イートインスペース及び適正な席数を確保する様計画を進めていきます。

住民 G

・八方ローソン横でもゴミがたくさんあることが現状である。春と秋に地域の清掃活動としてゴミ拾いを行っているが、実施期間以外の空いている期間では清掃活動ができていない。例えば、ローソンやアルピコなどの周辺施設者として、ゴミ拾い等の清掃活動ができないだろうか。敷地内のごみ対策だけでなく、周辺道路についても配慮してほしい。

(回答) 敷地内のごみが周辺道路に行かない様きちんと管理いたします。周辺の清掃活動についても今後検討し、地域に積極的に貢献していきたいと思えます。

住民 H

・白馬町にあるアルピコバスの停留所兼白馬営業所をよく利用するが、今後どうなるか。

(回答) 現時点とかわらず、停留所及び営業所はそのまま残ります。

住民 I

・今後開発エリアを広げていく可能性はあるか？

(回答) 現時点ではその予定はありません。

住民 J

・ホテルの価格帯はどのくらいか。

(回答) 現時点では検討中のため、お答えできません。

住民 K

・現在のバスターミナルでは、アルピコバス以外にも他社のバスが増えて、バスの通行台数が増えている。今回の新しいバスターミナルにアルピコバス以外の停留場を作る計画はあるか。

(回答) 貸し切りバスの待避所も計画しており、多くのバスが停留できるよう配慮していきたいと考えています

⇒送迎車両も多くなると思われるので、バスターミナルの待避所等についても十分配慮してほしい。

住民L

・水路の付替えについて、水路の水量は一年で一定ではない。今回、ビオトープのような施設など水路を新設することで、水量への影響はないか。春から夏にかけて水門の開閉などで申し出がよくあるので、耕作時に水路の供給が滞ることや溢れたりすることが無い様に上手に調整してほしい。

(回答) 水路の計画は、白馬村と協議の上進めています。引き続き計画時だけでなく、開業後もしっかり確認して周辺に迷惑がかからないように計画していきます。

6. 閉会